

インクラの滝風景林

胆振東部森林管理署

【インクラの滝の特徴】

白老町社台にあるインクラの滝は、落差44m、滝幅約10mの水量豊富な名瀑であり、「日本の滝百選」に選定されています。

滝の名称である「インクラ」とは、この地で切り出したトドマツ、エゾマツ、ミズナラ等の木材を急な崖の下に運搬するためのインクライン（荷を積んだトロッコが自重で下りる力を利用して、空のトロッコを引き上げる装置）が設置されていたことから、「インクラの滝」の名がついたとも言われています。地元の人は、昭和初期まで「別々の滝」と呼んでいました。

【気候等と野生動物】

胆振地方の気候は、北海道の中では比較的温暖です。春の訪れは早く、夏は涼しく、秋は爽やかで安定した日が続きます。

樽前山の過去の噴火で積もった厚い火山灰の地層を、長い時間をかけて通り抜けてきた伏流水は、清冽で水量も豊富です。周囲の崖や溪谷にはエゾマツ、トドマツ等の常緑樹やナラ、イタヤ、カツラ、ニレ等が生育し、澄んだ水面に四季それぞれの色彩を映しだしています。

野生動物は、エゾシカ、キタキツネ、エゾリスなどが生息しています。

【楽しみ方】

インクラの滝風景林には、国道 36 号線の案内看板から車で約 20 分のところに駐車場と第一展望台があります。

第一展望台から起伏に富んだ遊歩道を約 10 分歩くと見晴らし台があり、滝壺までは行けませんが、見晴らし台からは写真を撮ることができ、四季折々の自然の彩りと深い森から城壁のような断崖を落ちる名瀑を楽しむことができます。



また、近隣には、ポロト自然休養林、アイヌ文化に触れることができるウポポイ民族共生象徴空間（国立アイヌ民族博物館、国立民族共生公園）や登山道の整備された樽前山など、多くの観光名所があり、来訪者で賑わっています。

《アクセス》

